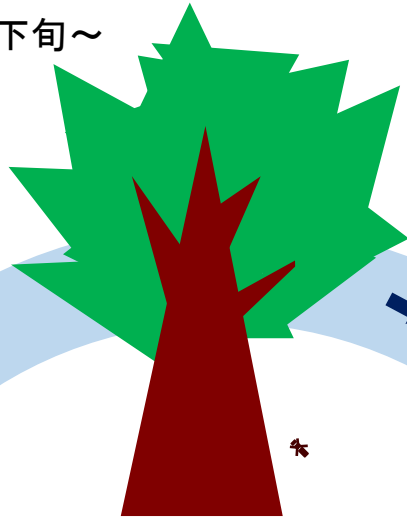


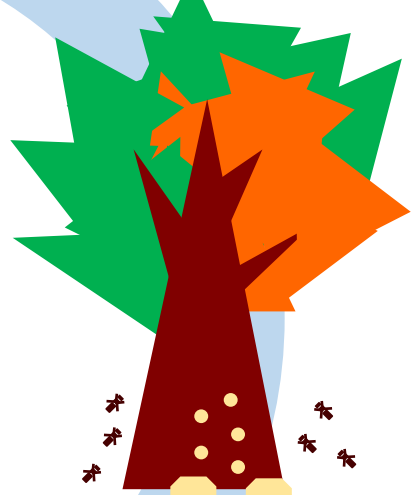
【ナラ枯れのサイクル】

6月下旬～



健全な木に、少数のカシナガの雄が穿入し、集合フェロモンを発散させる

7月～8月



集合フェロモンに誘引された雌雄の成虫が集中的に穿入する

メスが持つ菌のう(ナラ菌や餌となる酵母菌等を貯蔵する器官)から、樹木内にナラ菌が持ち込まれる

8月～



ナラ菌は、カシナガが掘った坑道を伝って蔓延し、木がそれを防ごうとして通水機能を停止させてしまうことにより、葉が変色し枯死に至る

雌は産卵し、羽化した幼虫は坑道内で成長する

成長した新成虫が、6～8月に脱出し、健全な木に飛来していく

